



# 令和3年度 文部科学大臣表彰を受賞

2月4日、令和3年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰が行われ、「五霞町家庭教育支援チーム」がオンラインで表彰式に参列しました。五霞町家庭教育支援員を中心とした「五霞町家庭教育支援チーム」の特色ある取組みが評価され、県からの推薦を受け受賞にいたりしました。

また、文部科学大臣表彰に先立ち、五霞町長からの伝達式が行われました。

○お問い合わせ 教育委員会 生涯学習G ☎(84)1460(直通)

## 五霞町家庭教育支援チームの主な取組み

- 1 訪問型家庭教育支援** 家庭教育支援員が、次年度小学校に入学する子をもつ全ての家庭を訪問して入学に向けての相談対応や情報提供、絵本のプレゼントをしています。また、入学後も希望された家庭等に継続して相談対応などの支援をしています。
- 2 ブックスタート** 健康福祉課と連携して「よちよち相談（7～9か月の赤ちゃんと保護者対象）」の際に、家庭教育支援員が、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼント。抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさと嬉しさを届けています。



染谷町長から江森支援員へ表彰状授与



文部科学大臣政務官からの祝辞

文部科学省東館第一講堂を本会場として、全国31の受賞団体とオンラインで結び表彰式が行われました。



## 五霞町人権教育研修会をオンライン配信で開催

1月29日に五霞町人権教育研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン（YouTubeライブ）で配信し、40名が視聴しました。

研修会では、公益財団法人反差別・人権研究所みえ常務理事 兼事務局長 松村元樹氏を講師に迎え「インターネット上の部落差別」と題した講演と茨城県制作の人権問題啓発映画「ホーム」の視聴を行いました。



会場はスタッフなど最小限で視聴



千葉教育長の挨拶

### ○講演を視聴した方からの感想

インターネット特有の差別的構造について学習することができました。ネット社会の今、その構造をきちんと理解して正しく考えていくことの大切さを感じました。

講演を聴き、無意識の思い込みや偏見から他者を傷つけていたかもしれないと自分自身を振り返ることができました。差別をなくすために、正しい知識を身につける努力を続けなければならぬと改めて意識することができました。

インターネット上においても部落差別発言をする人がいるのかと思うと同時に、顔が見えないSNSだからこそより過激な発言になってしまい、歯止めが効かない風潮を生み出しているのだと感じました。SNS上での具体的な事例を見たことがなかったので、実際に見て驚かされた。具体例があったので、わかりやすかった。「マジョリティがマジョリティを教育すること」が必要という言葉が印象に残った。今後の行動に生かしていきたい。